

第2章 これまでの取組の成果及び課題

前計画の「墨田区子ども読書活動推進計画（第3次）」では「家庭・地域等（施設、区立図書館・図書室）」、「学校」、「資料等の充実」、「広報・啓発等」の4つの項目について次の取組を行い、成果と課題が明らかになりました。

第1 家庭・地域等における子どもの読書活動の推進

1 家庭

(1) 取組

- ア 保護者への意識啓発
- イ 読書のきっかけづくり事業の推進

(2) 成果

- ア 保護者への意識啓発については、家庭の読書に関する講演会の実施やブックリストを配布することにより、区立図書館・図書室の乳幼児の貸出者数及び貸出冊数が増加しました。

乳幼児（0～6歳）	平成25年度	平成30年度	増減
貸出者数[人]	11,095	16,627	49.8%増
貸出冊数[冊]	53,136	67,129	26.3%増

- イ 読書のきっかけづくりとして、おはなし会や読み聞かせを定期的を実施することにより、参加者が増加しました。

図書館でのお話し会	平成25年度	平成30年度	増減
参加者数[人]	6,820	9,246	35.5%増

(3) 課題

- ア 読書習慣の形成を図るためには、保護者が読書に関する理解をより深めていけるような取組と支援が必要です。

2 施設（保育園、幼稚園、児童館、子育てひろば等）

(1) 取組

- ア 読み聞かせ、お話し会等の実施
- イ 図書の実充

(2) 成果

ア 施設でのお話し会の開催数が増加しました。

施設でのお話し会	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
開催数[回]	42	77	83.3%増

イ 施設での図書の実数を図り、団体貸出の貸出冊数が増加しました。

団体貸出	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
貸出冊数[冊]	10,365	12,793	23.4%増

(3) 課題

ア 子どもの発達段階に合わせた分かりやすい読み聞かせを行うためには、日頃から子どもと接する施設職員の読み聞かせ技術の向上が必要です。

イ 施設での読書活動を進めるために、施設の状況に合わせて団体貸出を積極的に活用するなど、施設の図書を更に充実する必要があります。

3 区立図書館・図書室

(1) 取組

- ア 事業の充実
- イ 地域人材の育成
- ウ 関係機関・地域等との連携・協力
- エ 学校図書館との連携・協力
- オ 児童図書等の再利用の促進

(2) 成果

ア 事業の充実については、お話し会等の行事、小学生の図書館見学、中学生・高校生の職場体験を実施することにより、参加者が増加しました。

事業名	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
お話し会 開催数[回]	311	444	42.8%増
参加者数[人]	6,820	9,246	35.5%増
職場体験 参加者数[人]	71	141	98.6%増
図書館見学 開催数[人]	861	1,791	108%増
児童書及び絵本の貸出冊数[冊]	520,000	652,889	25.5%増

イ 地域人材の育成については、学校読み聞かせボランティア養成講座の開催数を増やすとともに、平成30年度から絵本の理解講座を実施し、読書を担う地域の人材育成を進めました。

事業名	平成25年度	平成30年度	増減
読み聞かせボランティア養成講座 開催数[回]	2	8	300%増
絵本の理解講座(新規) 開催数[回]	—	1	—

ウ 関係機関・地域等との連携・協力については、国・都等の図書館との相互貸借による資料の充実を図るとともに、平成30年度には東京オリンピック・パラリンピックの展示を都内公共図書館と共同実施しPRを行いました。また、ひきふね図書館パートナーズ¹の企画による子ども向けのワークショップ、中学生・高校生向けに「おもてなし課」²の活動を実施し、ボランティアとの連携・協力を進めています。

事業名	平成25年度	平成30年度	増減
子ども向けワークショップ(新規) 開催数[回]	—	1	—
おもてなし課の活動(新規) 開催数[回/月]	—	1	—

エ 学校図書館との連携・協力については、小学校及び中学校の学校図書館に学校司書³の配置日数を増やしたほか、ひきふね図書館が学校図書館連携システム⁴の管理・運用を行っています。また、調べる学習コンクール相談会への協力を行うとともに、平成29年度から図書館担当教諭研修会をひきふね図書館で開催しています。さらに、同年から学校司書意見交換会も新たに開催し、学校図書館運営を支援しています。

事業名	平成25年度	平成30年度	増減
学校司書の配置 配置日数[日/週]	1	2	100%増

1 「ひきふね図書館パートナーズ」：図書館に望ましい事業・サービスを利用者目線で考え、実現するための企画を提案し、図書館と協働でイベント等を実施しているボランティア組織です。

2 「おもてなし課」：人が集まる楽しい図書館を目指した企画を考え活動する中学生及び高校生のボランティアです。ティーンズ向けブックリスト作成、本のビンゴ大会、辞書で遊ぶなどを企画し、実施しています。

3 「学校司書」：図書管理、選書、除籍業務のほか、学校図書館の利用を進めるとともに、授業への協力を行います。

4 「学校図書館連携システム」：学校図書館と区立図書館が連携し、貸出・返却・検索等の機能を持つコンピューターシステムです。

学校司書意見交換会 (新規) 開催数[回]	—	1	—
--------------------------	---	---	---

才 児童書のリサイクル図書⁵の配布冊数⁵を増加し、児童図書等の再利用を進めました。

児童書のリサイクル図書	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
配布冊数[冊]	2,053	8,506	314%増

(3) 課題

ア 今後、子どもの読書活動の拡大に伴い、担い手不足が見込まれるため、読書ボランティアの養成が必要です。

イ 学校図書館の整備には、図書の充実に加えて、司書教諭や学校司書との情報共有を図りつつ、学校図書館の運営を行う必要があります。

第2 学校における子どもの読書活動の推進

1 取組

- (1) 児童・生徒の読書習慣の確立、読書指導の充実
- (2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進
- (3) 子どもの読書活動の推進のための学校図書館等の機能強化
- (4) 学校図書館の資料、施設・設備等の整備・充実
- (5) 学校図書の活用を推進していくための人的配置の推進

2 成果

(1) 児童・生徒の読書習慣の確立、読書指導の充実については、学校図書館の全体計画、年間指導計画を作成し、取組を進めてきました。

調べる学習コンクールに参加する小学生・中学生が増加したほか、ビブリオバトル⁶大会を開催しました。また、不読率⁷も一部の学年で改善が見られましたが、中学生では不読率の改善が進んでいない状況です。

⁵「リサイクル図書の提供」：図書館で除籍になった図書で、再利用が可能なものを無料で配布しています。

⁶「ビブリオバトル」：発表参加者がお気に入りの本を持ち寄り、その魅力等を発表し、一番読みたくなった本を、参加者の投票により決定する読書活動です。

⁷「不読率」：小学生3・4年生は1週間、小学校5年生以上は1か月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合です。

調べる学習コンクール	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
応募件数（件）	4,037	5,164	27.9%増

不読率	計画策定時（25 年度）	30 年度実績
小学校 3 年生	24.2%	17.6%
小学校 4 年生	22.6%	20.2%
小学校 5 年生	18.1%	17.2%
小学校 6 年生	23.1%	23.0%
中学校 1 年生	20.5%	15.9%
中学校 2 年生	23.0%	24.0%
中学校 3 年生	28.6%	30.5%

（２）家庭・地域との連携による読書活動の推進については、保護者を中心に読み聞かせ等に関するボランティア活動を進めました。

（学校におけるボランティア活動内容（平成 29 年度調査））

- ・活動回数 主に週 1 回または隔週 1 回
- ・活動内容 主に読み聞かせ、図書整理、図書の展示

（３）子どもの読書活動の推進のための学校図書館等の機能強化については、教科のテーマに応じた授業への資料提供と関連した図書の展示を行い、調べ学習の支援を進めました。

（４）学校図書館の資料、設備等の整備及び充実については、学校図書館図書標準⁸に基づき、図書購入を進めています。また、書架増設等の設備改善を行うとともに、図書の充実を図ったことにより団体貸出冊数が増加しました。さらに、図書検索、蔵書管理の効率化を図る学校図書館連携システムの適切な運用を行っています。

⁸ 「学校図書館図書標準」：公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が平成 5 年 3 月に定めました。

学校図書館図書標準	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
小学校平均	117.5%	120.1%	2.6 ポイント増
中学校平均	69.5%	94.5%	25.0 ポイント増

学校への団体貸出	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
貸出冊数[冊]	6,000	30,879	414.7%増

- (5) 学校図書の活用を推進していくための人的配置については、小学校及び中学校の学校図書館に、学校司書を週 2 日（令和元年度から一部の小学校については週 3 日）配置しました。このことにより、学校図書館の一人あたりの図書貸出冊数が増加しました。

学校図書館の一人あたりの貸出冊数[冊]	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
小学校	27.8	36.7	32.0%増
中学校	1.4	2.3	64.2%増

3 課題

- (1) 中学生の不読率の伸び悩みについては、子どもが自分の興味や関心がある分野に熱中したり、部活動や進学等で読書する時間が確保しにくくなることで、相対的に読書への関心が低くなる子どもが増えることの影響が考えられます。また、小学校高学年段階での不読率の状況から、十分な読書習慣を身に付けていない子どもがいます。学校が、一人ひとりの興味や関心を把握したうえで、読書への関心を高める取組を行い、読書習慣を形成する必要があります。
- (2) 学校図書館においては、蔵書の分類になお偏りが残されていること、中学校の一部には、学校図書館図書標準が達成途上にあることや読書スペースの狭隘、設備の老朽化など整備の必要があります。個別の学校図書館の状況に応じた整備が必要です。

第3 資料等の充実による子どもの読書活動の推進

1 取組

- (1) 区立図書館等の資料の整備・職員の能力向上
- (2) 障害のある子どものための環境の整備・充実
- (3) 地域資料サービスの充実

2 成果

- (1) 区立図書館等の資料の整備については、子どもや保護者からのリクエストを踏まえ、児童書の選書を行うとともに調べる学習コンクール作品及び子育て資料の展示コーナーを設け、利用しやすいよう工夫しました。また、青少年向けのTS（ティーンズ）コーナーを設け、中学生・高校生が図書館を利用しやすい環境づくりを行いました。

職員の能力向上を図るために、毎年、図書館員が司書資格取得講習を受講するとともに、都立図書館や日本図書館協会の研修を受講しました。

- (2) 障害のある子どものための環境の整備・充実については、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所への出張読み聞かせに新たに取り組むとともに、マルチメディアデイジー図書⁹、L.Lブック¹⁰などの障害者向け図書の充実を進めました。

障害児通所支援の施設	平成 25 年度	平成 30 年度	増減
読み聞かせ施設数[施設]	—	3	—

- (3) 地域資料サービスの充実については、図書館ホームページで「地域資料」のコーナーを設け、写真資料により昔の墨田区の街並みを知ることができるようにしました。

⁹ 「マルチメディアデイジー図書」：音声と音声に合わせたテキストや画像を同期させ画面に表示するデジタル図書です。

¹⁰ 「L.Lブック」：文字を読んだり、本の内容を理解したりすることが苦手な人が優しく読めるよう、写真や絵、わかりやすい文章などを用いて内容が分かりやすく書かれた図書です。

3 課題

(1) 資料の充実の取組については、区立図書館・図書室の児童図書の充実を図るとともに、児童図書に関するレファレンス¹¹を適切に行えるよう図書館員の専門的能力を高める必要があります。

(2) 障害のある子どものための資料整備を進めるとともに、読書の楽しさを体験してもらい、読書を好きになってもらうための読書活動を支援する必要があります。

第4 広報・啓発等による子どもの読書活動の推進

1 取組

(1) 「子ども読書の日」(4月23日)、「文字・活字文化の日」(10月27日)に合わせた、読書に関する行事の実施及び読書活動の啓発

(2) 図書館ホームページに、子ども向け図書、おすすめ図書の情報や行事の情報の掲載

2 成果

読書の記念日を中心に読書に関する行事を実施し、図書館ホームページにおいて、子ども読書活動に関する情報を提供する環境を作りました。

3 課題

子どもの区立図書館・図書室利用を進めるために、日頃、図書館利用から遠ざかっている子どもに対して、地域のイベントでリサイクル図書を配布するなど、直接読書活動をPRする取組を進める必要があります。

¹¹ 「レファレンス」: 図書館利用者が必要な資料や情報を求めた場合に図書館員が資料検索を援助し資料を提供しあるいは回答するなど、利用者と資料とを結びつける図書館業務です。

第5 到達すべき数値目標・実績

1 区立図書館・図書室の児童書及び絵本の貸出冊数(冊)

貸出冊数(冊)	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
		520,000	652,889	572,000

2 区立図書館・図書室の対象者別の延べ貸出者数と延べ貸出冊数

対象者		計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
0～6歳	貸出者数(人)	11,095	16,627	12,204	136.2%
	貸出冊数(冊)	53,136	67,129	58,449	114.9%
7～12歳	貸出者数(人)	48,417	47,286	53,258	88.8%
	貸出冊数(冊)	155,435	151,257	170,978	88.5%
13～15歳	貸出者数(人)	9,727	10,824	10,699	101.2%
	貸出冊数(冊)	25,638	28,721	28,201	101.8%
16～18歳	貸出者数(人)	7,178	5,997	7,895	76.0%
	貸出冊数(冊)	17,277	14,380	19,004	75.7%
合計	貸出者数(人)	76,417	80,734	84,056	96.0%
	貸出冊数(冊)	251,486	261,487	276,632	94.5%

3 学校への団体貸出冊数(冊)

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校	6,000	28,907	30,000	-
中学校		1,972		
合計	6,000	30,879	30,000	102.9%

4 児童・生徒一人あたりの学校図書館 個人への年間貸出冊数(冊)

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校	27.8	36.7	40	91.8%
中学校	1.4	2.3	10	23.0%

※学校図書館連携システムによる貸出冊数(学校図書館内のみの利用冊数は含まない)

5 区立小学校(3～6年生)区立中学校の児童・生徒の不読率

	計画策定時 (25年度)	30年度	目標値 (31年度)	達成率 (30年度比)
小学校3年生	24.2%	17.6%	15.0%	85.2%
小学校4年生	22.6%	20.2%	15.0%	74.3%
小学校5年生	18.1%	17.2%	15.0%	87.2%
小学校6年生	23.1%	23.0%	15.0%	65.2%
中学校1年生	20.5%	15.9%	15.0%	94.3%
中学校2年生	23.0%	24.0%	20.0%	83.3%
中学校3年生	28.6%	30.5%	20.0%	65.6%

(「墨田区学習状況調査の総合意識調査(i-check)」)

※不読率： 小学校3・4年生は1週間、小学校5年生以上は1か月に1冊も読まなかった割合